「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報
【インストール説明】
Version 4.3.0

2008 年 11 月 19 日

社団法人日本医師会

1　パッケージ概要

1-1　注意事項

(1) バックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、

エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。
また、グループ診療のためデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID（アップグレード処理日に有効なもの）と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(2) 処理時間について
パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。
変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能（スペック）にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。
お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

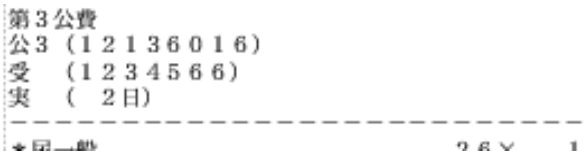
(3) 退院時処方せん対応では、外来の処方せんと同じ帳票を使用しますので、処方せんプログラムをカスタマイズしている場合は、修正が必要になります。
修正内容は　http://www.orca.med.or.jp/cgi-bin/cvsweb/jma-receipt/cobol/common/
のページからモジュールORCHC02.CBL,ORCHC02Q.CBL,ORCHCM19.CBLの該当するものの修正を参照してください。

(4) ３種又は４種の公費負担医療併用の者に係るレセプト記載について
レセプト電算処理システムの「平成２０年４月版記録条件仕様（医科用）の変更」に伴い、今回のパッケージより３種の公費併用、４種の公費併用レセプトについて、紙レセプトへの第３公費、第４公費記載、及びレセプト電算処理システム提出データに該当レセプトを含める対処を行いました。（ver4.2.0 パッケージまではレセプト種別不明の取扱いとしています。）
３種及び４種の公費負担医療については紙レセプトへの記載を以下の仕様としています。
・医療保険と３種の公費負担医療
第３公費に係る公費負担者番号、受給者番号及び診療実日数を、「摘要」欄に「第３公費」と表示して記

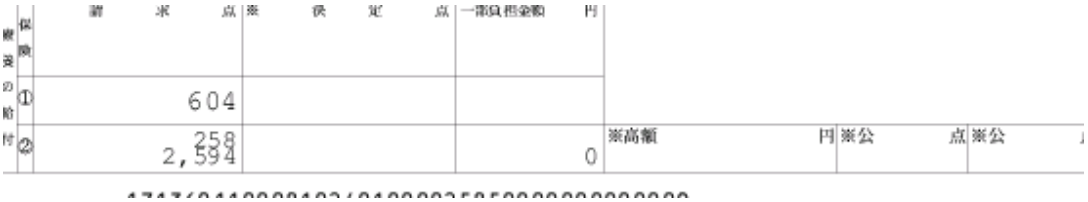
Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.

載。
第３公費に係る療養の給付の合計点数、負担金額、食事療養及び生活療養を行なった日数及び当該療養に係る金額の合計額並びに標準負担額は、「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費②」の項をそれぞれ上下に区分し、上欄には第２公費に係る事項を、下欄には第３公費に係る事項を記載。

「摘要」欄の例です。

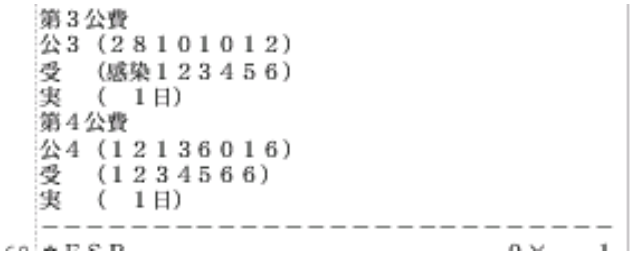


「療養の給付」欄の例です。



・医療保険と４種の公費負担医療
第３公費、第４公費に係る公費負担者番号、受給者番号及び診療実日数を、「摘要」欄に「第３公費」、「第４公費」と表示して記載。
第２公費に係る療養の給付の合計点数、負担金額、食事療養及び生活療養を行なった日数及び当該療養に係る金額の合計額並びに標準負担額は、「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費①」の項をそれぞれ上下に区分し、上欄には第１公費に係る事項を、下欄には第２公費に係る事項を記載。
第３公費、第４公費に係る療養の給付の合計点数、負担金額、食事療養及び生活療養を行なった日数及び当該療養に係る金額の合計額並びに標準負担額は、「療養の給付」欄及び「食事・生活療養」欄の「公費②」の項をそれぞれ上下に区分し、上欄には第３公費に係る事項を、下欄には第４公費に係る事項を記載。

「摘要」欄の例です。



「療養の給付」欄の例です。

ただし、４種の公費併用時の紙レセプト記載については記載要領に明確な記載方法が存在しない為、支払基金にその取扱いを確認したところであるが、現時点で明確な記載方法が確定できていない。との回答があっ

Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.

た事により、現時点では暫定的に上記に記した記載を行う事とし、記載要領等の改正通知等が発出された場合はそれに併せた改変を行なう事とします。

(5) 日次、月次統計業務に登録済みの標準提供帳票と公開帳票のパラメタに変更が発生した場合、自動的に最新の情報を取り込むようにしました。

(6) ２台運用の設定（従サーバへリダイレクト）を行い運用している場合、従サーバで稼動する日レセサーバへ接続した場合は、トップメニューに青字で「従サーバへ接続しています。」と表示を行い、「01 医事業務」ボタンを非活性にするようにしました。

(7) グループ診療について(ver4.0.0 で実装)
グループ診療とは、１つの「日レセ」システムで複数医療機関の運用を可能とする機能のことを指します。括弧書きで本院・分院対応と説明しているものもありますが、正確な本院・分院対応ではありません。患者情報の共有など本院・分院対応としては基本的な機能が実装されていませんのでご注意ください。
それから、グループ診療機能を物理的に離れた医療機関同士で利用することは、いわゆる診療録等を外部機関で保存することにあたります。医療機関等であれば診療録等を外部機関に保存することが可能ですが、サーバ等の置き場所については医療法人等が適切に管理する場所に置くなど、注意が必要です。
また、組織の外部と医療情報を交換することになりますので、ネットワークのセキュリティについても充分な注意が必要です。
これらについては、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第２版」
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/s0301-12.html
に詳細が記述されていますので、遵守の上、本機能をご利用願います。

(8) グループ診療対応における各種プログラムのカスタマイズ情報があります。
グループ診療対応におけるデータベース構造の変更、新規機能等に対応するため各種プログラムを修正しました。
ユーザーが独自に開発を行い、組み込みを行っている場合は、必ず見直しを行い動作検証してください。
修正情報は、別紙で各種カスタマイズ情報を提供していますのでご確認ください。

(9) ミドルウェア関係について
最新の glclient では、プレビュー印刷が可能となりました。印刷に使用するプリンタはクライアントマシンに接続されたプリンタとなります。よって、プレビュー印刷機能を使用する場合は、クライアントマシンでプリンタの設定を行う必要があります。また、提出用レセプトを印刷する場合は、OCR フォントの設定も必要となります。
それから、PostgreSQL の SSL 接続をサポートしました。日レセで使用する場合の設定等については、技術資料としてホームページで公開する予定にしていますのでそちらを参照してください。

1-2 データベース構造変更

(1) 新設されたテーブル
・入院履歴照会テーブル(TBL_NRRKSRH)
・入院診療行為照会テーブル(TBL_NSRYSRH)
・患者特記事項テーブル(TBL_PTTOKKI)
・クーロン情報テーブル(TBL_CRON)
・オンラインレセ電管理テーブル(TBL_ONRECE_KANRI)
・オンラインレセ電明細テーブル(TBL_ONRECE_BODY)

(2) 変更されたテーブル
・入院基本料テーブル(TBL_NYUINKHN)

Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.

・レセプト管理テーブル(TBL_RECEKANRI)
・レセプト明細書テーブル(TBL_RECEPRT)
・統計覚書テーブル(TBL_TOUKEIMEMO)

(3) データ修正
・入院料加算チェックテーブル(TBL_NYUKSNCHK)
褥瘡患者管理加算の内容を見直しました。
・システム管理マスタテーブル(TBL_SYSKANRI)
日次、月次統計プログラムの内容を見直しました。

別紙「データベーステーブル仕様書」第16版をご確認ください。

1-3 パッケージアップグレードの方法

ここでは、アップグレードを対象に説明をします。クリーンインストールする場合は、公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

(1)バックアップします。
パッケージをアップグレードする場合は、操作に先立って必ずデータベースのバックアップを行ってください。
バックアップの方法
ターミナルプログラム(gnome-terminal,kterm など)から以下のコマンドを入力します。

```
$ pg_dump -0 orca > バックアップファイル名
```

(2)スキーマチェックを行います。
現在のデータベースの状態をチェックします。
最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。
ターミナルプログラム(kterm など)から以下のコマンドを入力します。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sh jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されますが、不整合が発生した場合、あるいは、チェックマスタの更新状態が古い場合に作業ディレクトリ(jma-receipt-dbscmchk/)にjma-receipt-dbscmchk.logというファイルが作成されます。
ログファイルの内容を確認してください。
整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ないです。

(3) apt の確認をします。
/etc/apt/sources.list　のエントリに以下の記述があるか確認をしてください。なければ追加あるいは変更してください。
[sarge の場合]

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian sarge jma
または
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian/4.3 sarge jma
```

[etch の場合]

Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.

```
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian etch jma
または
deb ftp://ftp.orca.med.or.jp/pub/debian etch4.3 jma
```

(4) パッケージをダウンロードします。
ターミナルプログラム(gnome-terminal,kterm など)から以下のコマンドを入力します。(root 権限が必要)

```
# aptitude update
# aptitude dist-upgrade -dy
```

sudo の設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo aptitude update
$ sudo aptitude dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

(5) アップグレードします。
ターミナルプログラム(gnome-terminal,kterm など)から以下のコマンドを入力します。(root 権限が必要)

```
# aptitude dist-upgrade
```

sudo の設定がある場合は以下のコマンドでも行えます。

```
$ sudo aptitude dist-upgrade
```

※再起動について
設定によりますが、「日レセ」パッケージのアップグレードをすると、アプリケーションは自動で再起動します。ですが、サブプロセスが終了できずにそのまま残る場合があります。
パッケージアップグレード後、再起動をしていただくときれいな状態でアプリケーションが起動できます。

(6) プログラム更新処理をします。
パッケージをアップグレードした後は、プログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。
緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-4 データベース構造変更の確認について

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。
正常にアップグレード(インストール)が完了すると「構造 ver(自)」及び「構造 ver(ORCA)」の表示は次のようになります。

「S-040300-1-20081119-1」 ※平成 20 年 11 月 19 日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.3.0.log というファイルが作成されますので“ERROR”という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.3.0.log
```

さらに、スキーマチェックを行います。

Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sh jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-5 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。
業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン(F12 キー)を選択すると更新処理を開始します。
提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空(0 バイト)でない場合は、対となるファイル名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。(/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

2 Version4.2.0 に対する修正プログラム提供内容

Version4.2.0 システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

Copyright(C)2008 Japan Medical Association.
All rights reserved.